

令和6年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
外国語	オーラルコミュニケーション	1	3-2、3-3

1. 学習の到達目標

- ・ALTのネイティブな英語を聞き、理解し、積極的にコミュニケーションを図る態度を育む。
- ・聞くことだけでなく、話すこと[発表]、話すこと[やり取り]にも力を入れる。
- ・日常で使用する英会話表現を身に付ける。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	Lesson1 アヤと呼んでね Lesson2 僕のサッカーユニフォーム Lesson3 ニンジンが嫌い Lesson4 あとで連絡します Lesson5 何を勉強しているの？	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介ができる。 ・物を指してそれが何か述べるができる。 ・好き嫌いについて話すことができる。 ・連絡に関するやり取りをすることができる。 ・今何をしているのか話すことができる。
2 学 期	Lesson6 どれが一番いい？ Lesson7 自分で聞けるよ Lesson8 手伝ってくれない？ Lesson9 短くしなくては Lesson10 発表をやります。	<ul style="list-style-type: none"> ・2つ以上のものを比べて話すことができる。 ・何かができると伝えることができる。 ・手伝ってほしい内容を伝えることができる。 ・すべきことについて話すことができる。 ・発表をやります。
3 学 期	Lesson11 電源ボタンを押したの？ Lesson12 バンジーやったことある？ Lesson13 いつ建てられたの？ Lesson14 雨なら行きません。 Lesson15 自分で作ったバッグ	<ul style="list-style-type: none"> ・完了したことについて話すことができる。 ・経験したことについて話すことができる。 ・「～される」という表現ができる。 ・「もし～なら…だ」という話ができる。 ・人や物を関係節を使って説明することができる。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査による評価、提出物等授業態度による総合評価
------	-------------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	音声、文法などの英語の特徴を理解する。コミュニケーションを行う目的や場面などに応じて、聞いて内容を理解し、話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	目的・場面・状況に応じて必要な意図や要点などを捉え、気持ちなどを表現する。	情報や考えを捉えようとしているか、情報や考え、気持ちなどを表現しようとしている。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	Speak Up now! スピーキングを定着させる15レッスン (数研出版)
副教材	なし